

6 月定例会「議長・副議長選出選挙」における立候補制における評価アンケート

【議長選挙】

①立候補制について	(ア) 良かった点 特に無し (イ) 悪かった点 報道にもあったが、水面下で多数派工作が行われてる以上は、議長選挙において透明性が担保された上で行われたとは考えられない。したがって議会が、改革され進歩したとは言えない。すでに市民からパフォーマンスと取られている。 (ウ) 改善すべき点 奈良市議会の規模からしては、あまり意味があるとは思えないので、今後は廃止すべきと考える
②所信表明について	(ア) 良かった点・・・特に無し (イ) 悪かった点 所信表明とは、「自らの信念を述べること」とある。立候補者が他人に作ってもらった所信表明では、有権者や市民を愚弄する行為と捉えられる恐れがあり、有権者と主権者である市民に対して、更に不信感を与える事に繋がりがかねない。 (ウ) 改善すべき点 立候補制を廃止すべきと考えるので、改善点は特に無し。
③候補者への質疑について	(ア) 良かった点 当然である (イ) 悪かった点 座長が 2 回にわたり質疑者（大坪・中西議員）に対して「(質疑が) まだあるのですか？」との発言は、議員に与えられた権利である質疑を規制する不適切発言であると考え。このような運営展開は、所信表明に対して、質疑が行われるのは開かれた議会の基本であるのにも関わらず、当初より質疑を設けなかった事が原因であり、大変遺憾である。 (ウ) 改善すべき点 立候補制を廃止すべきと考えるので、改善点は特に無し。

【副議長選挙】

④立候補制について	(ア) 良かった点・・・特に無し (イ) 悪かった点 報道にもあったが、水面下で多数派工作が行われてる以上は、議長選挙において透明性が担保された上で行われたとは考えられない。したがって議会が、改革され進歩したとは言えない。すでに市民からパフォーマンスと取られている。 (ウ) 改善すべき点 立候補制を廃止すべきと考えるので、改善点は特に無し。
-----------	---

【挨拶まわり】

(選択してください)

これまで通り慣例に従って継続する。

今後、慣例を廃止し、控室への挨拶まわりはやめる。

その他改善点（挨拶回りは、従来よりその本人の心情の問題であり自由であると考え、強制されてするものでも無い、議論する事自体がナンセンスであると考える）

提出期限：平成 24 年 7 月 26 日までに議会事務局議事調査課までご提出お願い致します。